



と金ホームページに検索 →、と金クラブ将棋教室 H29. 7. 22 第170号 編集責任者 後藤克義



【文化庁伝統文化 親子教室事業、と金親子将棋教室実施】

7月・文月 短冊に歌や字を書いて、書道の上達を祈った **七夕** の行事に因んだ「文披月（ふみひらづき）」が転じたものといわれています。また、穂が見えるようになる頃であることから「穂見月（ほみづき）」が転じたという説もあります。「ふづき」とも読みます。

7月の花 紫陽花（アジサイ） 梔子（クチナシ） 桔梗（キキョウ） 向日葵（ヒマワリ） ベゴニア睡蓮（スイレン） トルコギキョウ 銭葵（ゼニアオイ） ホウセンカ朝顔（アサガオ） ダリア百日紅（サルスベリ） 夾竹桃（キョウチクトウ） 白詰草（シロツメクサ） ノウゼンカズラ

**ご父兄様にお願い**

と金会報は毎月第1回目開催日に配布しております。特にニュークラス・初級クラスのご父兄は担当講師からお受け取りの程お願いいたします。（開催日程など同封している事も有ります）

将棋の棋力上達方法の一つとして、自分に合った振り飛車か居飛車の戦法を決めて下さい。

その為には、居飛車の棒銀戦法・振り飛車のごきげん中飛車・四間飛車・三間飛車などいろいろ指して下さい。その中から自分が指しやすい戦法が見つかるでしょう。指しやすい戦法を見つければ、その戦法を最低三年間は同じ戦法を指して下さい。初めは慣れないため負けが続くでしょうが、それでも繰り返し指します。

そのうちどこが悪いのか徐々に分ってきます。その悪い手を良い手に修正する、これを繰り返すことで確実に得意戦法と成り棋力が上達します。

又、対局では、指したい手が浮びますが、その手の他に良い手はないかと探すことも上達の道です。（後藤）

駒の並べ方手順

対局開始の際には駒袋から駒を取り出し、1枚ずつ並べていきます。最終的に初形の形になれば、その並べる手順は基本的には自由です。しかし多くのプロ棋士は、長い歴史の中で受け継がれてきた、**大橋流・伊藤流**という二つの並べ方のどちらかを採用しています。「大橋」「伊藤」とは江戸時代の将棋家元で、**一世名人の大橋宗桂、三世名人の伊藤宗看**を祖としています。あなたもぜひ、この歴史を受け継ぎ、駒の並べ方を身に付けてみましょう

大橋流は、玉将以下、左金、右金、左銀、右銀・・・と**左右対称に並べていきます**。左桂、右桂、左香、右香、角、飛を並べ、歩は5筋、6筋、4筋、7筋、3筋、8筋、2筋、9筋、1筋と並べます。一段目・二段目・三段目の順に、真ん中から左右に広がるように並べると覚えておくとよいでしょう。**プロでは大橋流で並べるのが主流**となっており、およそ8割の棋士が採用しています。図として示すと、以下のような並べ方となります。

19	17	15	13	12	14	16	18	20
	10						11	
8	6	4	2	1	3	5	7	9

8	9	10	11	12	13	14	15	16
	19						20	
17	6	4	2	1	3	5	7	18

6月開催の昇級・新入会者

6月3日開催日分 近藤俊介君3級昇・上級Aへ、大草歩睦君7級昇・上級Bへ、若尾直翔君8級昇、以下3名初級クラスへ、室星雅君13級昇・若尾春希君13級昇・土方啓吾君13級昇、以下新入会 今井涼太君13級認定、清王一志君13級認定・清王悠史君13級認定、東光君13級認定・各初級クラスへ、椎波千裕君11級認定・中級Bへ。

6月10日開催分 岡田正太郎君12級昇・渋佐環君12級昇、鶴岡快樹君12級昇、イレ・穂高君10級昇、竹下悠海君13級昇、千葉柊虎君13級昇、鬼頭潤也君13級昇、以上3名初級クラスへ、細井啓輝君10級昇、岡紘旦君10級昇、伊覇暹君10級認定。新入会 堀北周也君13級認定初級クラスへ。

8月の開催日 愛知東邦大学・アクテブ・ラーニング(食堂)PM1:30~4:20

8月5日(第1土曜日)・12日(第2土曜日)

お知らせ

9月~11月の開催日程表を同封します。